

同時発表：九州運輸局

令和5年3月10日
鉄道局鉄道事業課

南阿蘇鉄道の鉄道事業再構築実施計画の認定について

国土交通大臣は、南阿蘇鉄道の鉄道事業再構築実施計画について、令和5年3月10日付けで認定を行いました。

国土交通大臣は、南阿蘇鉄道株式会社等から申請のあった鉄道事業再構築実施計画について、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第24条第2項に基づき、令和5年3月10日付けで認定を行いました。

現在、第一種鉄道事業者として南阿蘇鉄道株式会社が経営する高森線については、南阿蘇鉄道株式会社が第二種鉄道事業者となって鉄道事業の営業・運営に専念し、輸送と利用促進を行い、一般社団法人南阿蘇鉄道管理機構が第三種鉄道事業者となって鉄道資産の保有と適切な管理を行います。これにより、南阿蘇鉄道高森線の安定的な輸送・維持が図られることとなります。

【概要】(詳細については添付資料をご覧ください。)

○申請者

南阿蘇鉄道株式会社、一般社団法人南阿蘇鉄道管理機構、高森町、南阿蘇村、熊本県

○事業構造の変更

(現行) 第一種鉄道事業者：南阿蘇鉄道株式会社

(変更) 第二種鉄道事業者：南阿蘇鉄道株式会社

第三種鉄道事業者：一般社団法人南阿蘇鉄道管理機構

○計画期間

10年間：令和5年4月1日～令和15年3月31日

【参考】

鉄道事業再構築実施計画の認定は、今回が13件目となります。

平成28年4月の熊本地震の影響により不通となっている南阿蘇鉄道(立野駅～中松駅間)の運転再開は令和5年7月15日(予定)です。(全線運転再開は7年3か月ぶり)

【問い合わせ先】

鉄道局鉄道事業課 中田、坂本

代表 03-5253-8111(内線 40664), 直通 03-5253-8539

○南阿蘇鉄道の鉄道事業再構築実施計画の概要

1. 鉄道事業再構築事業を実施する路線

南阿蘇鉄道 高森線

2. 旅客鉄道事業の経営改善

- ・ J R 豊肥本線接続強化
- ・ 立野駅周辺整備事業、高森駅周辺再開発
- ・ 鉄道とバス・乗合タクシー等との乗継利便性の向上、外国人観光客の受入環境整備 等

3. 地方公共団体その他の者による支援

- ・ 鉄道施設・鉄道用地の譲受・保有
- ・ 設備更新、維持修繕等に要する費用の負担
- ・ 沿線地域による利用促進・増収策の推進

4. 事業構造の変更の内容

(現行) 第一種鉄道事業者：南阿蘇鉄道株式会社

(変更後) 第二種鉄道事業者：南阿蘇鉄道株式会社

第三種鉄道事業者：一般社団法人南阿蘇鉄道管理機構

変更後は、南阿蘇鉄道が南阿蘇鉄道管理機構に鉄道施設および鉄道用地を無償譲渡、南阿蘇鉄道管理機構が鉄道施設や鉄道用地の保有等を行い、南阿蘇鉄道が南阿蘇鉄道管理機構から鉄道施設および鉄道用地を無償で借り受けて運行を行う。

5. 鉄道事業再構築事業の実施予定期間

令和5年4月1日～令和15年3月31日

6. 鉄道事業再構築事業の効果

南阿蘇鉄道が第二種鉄道事業者となって鉄道事業の営業・運営に専念し輸送と利用促進を行う。また、南阿蘇鉄道管理機構が第三種鉄道事業者となって鉄道資産の保有と適切な管理を行う。これにより、当該路線の安定的な輸送・維持が図られる。

南阿蘇鉄道(株)の概要

概要

- 【名称】南阿蘇鉄道株式会社
- 【代表者】代表取締役社長 草村 大成
- 【設立】昭和60年4月1日
- 【所在地】熊本県阿蘇郡高森町
大字高森1537番地2
- 【資本金】1億円
- 【株主】南阿蘇村(56.50%)、高森町(33.90%)、
山都町(7.00%)、西原村(2.50%)、大津町
(0.05%)、阿蘇南部農協協議会(0.05%)
- 【事業】鉄道事業、旅行業
- 【営業開始】昭和61年4月1日
- 【路線延長】高森線 17.7km
- 【駅数】10駅
- 【列車本数】《令和5年7月15日～》
上下14本/日(うちJR豊肥線直通2本)
《参考》上下15本/日(平成27年度)
- 【保有車両】10両(うち5両/1編成は観光列車)
- 【輸送実績】46千人/年(令和3年度)
《参考》257千人/年(平成27年度)
- 【経常損益】▲44百万円(令和3年度)
《参考》▲14百万円(平成27年度)

路線図



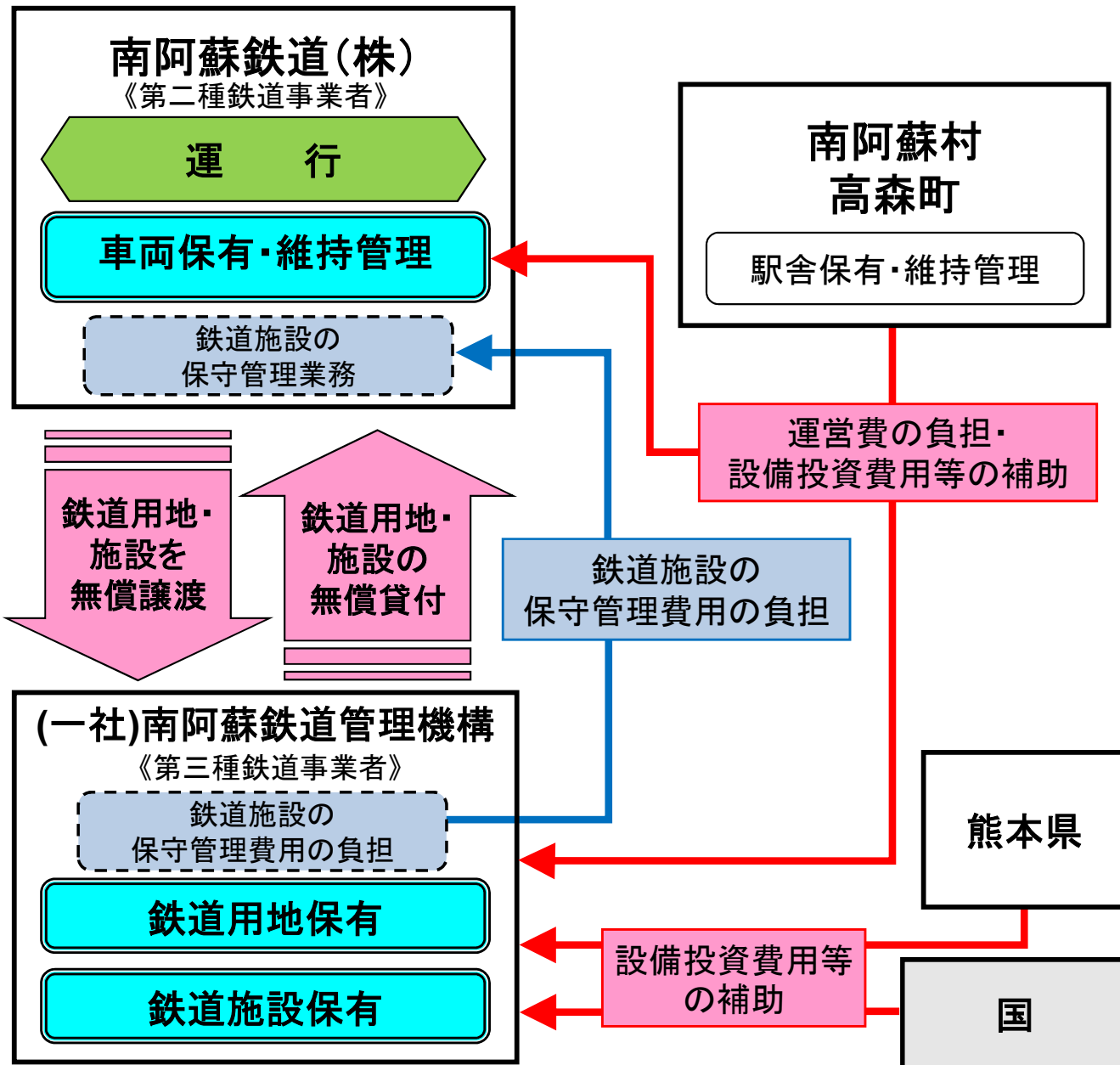
スケジュール

- 2016(平成28)年 4月 熊本地震により被災し運行休止
- 2017(平成29)年10月 第4回再生協議会にて上下分離方式導入を決定
- 2022(令和4)年 3月 「南阿蘇鉄道沿線地域公共交通計画」を策定
- 2022(令和4)年 4月 一般社団法人南阿蘇鉄道管理機構 設立
(熊本県、高森町、南阿蘇村)
- 2023(令和5)年 2月 鉄道事業再構築実施計画認定申請
- 2023(令和5)年 3月 同実施計画 大臣認定
- 2023(令和5)年 4月 鉄道事業再構築実施計画の開始

南阿蘇鉄道の鉄道事業再構築事業の概要

鉄道事業再構築事業実施スキーム

(計画期間: 令和5年4月～令和15年3月)



具体的施策と効果

効果

- 輸送人員: 27.8万人/年(R14年度見込)
(計画未実施の場合: 23.4万人/年)
- 収支の均衡

具体的な施策

- **安全な輸送サービスの確保**
 - ◇ 鉄道施設・車両の改修・更新の実施 [10年間: 21億円]
 - ◇ 鉄道施設の維持修繕の充実 [10年間: 4億円]
- **住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築**
 - ◇ JR豊肥本線接続強化(乗り入れ実施)
 - ◇ 立野駅周辺整備事業(P&R用駐車場整備等)
 - ◇ 高森駅周辺再開発(駅舎建替え等)
 - ◇ 二次交通網との結節強化
- **沿線地域と連携した利用促進活動の推進**
 - ◇ 地域住民の定期的な駅の利活用の仕掛けづくり
 - ◇ 駅舎を活用した地域のにぎわいづくりとの連携
 - ◇ 鉄道とバス・乗合タクシー等との乗継利便性向上
 - ◇ スマート観光交通体系構築の推進
 - ・熊本型観光MaaSの導入に向けた実証実験 等
 - ◇ 南阿蘇鉄道自体の観光素材としての磨きあげ
 - ◇ 外国人観光客の受入環境整備 等